

# NUPRI NEWS

Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人  
長野都市経営研究所

Vol.48

2014.JAN.

NPO法人 長野都市経営研究所

発行日/2014年1月30日 (年4回)

発行/NPO法人 長野都市経営研究所 〒380-0834 長野市大字鶴賀問御所町1289-1 丸本ビル2F TEL 026-235-7911 FAX 026-235-6166 http://www.nupri.or.jp E-mail : nupri@nupri.or.jp

## 2014 (平成26)年 新春鼎談

# 新しい年を迎えて

手を携え、知恵を出し合って長野の活性化へ



NUPRI会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。景気動向に久々に明るい兆しが見え始めたといわれる新春ですが、会員企業各位におかれましては、どのような手応えを感じておられるでしょうか。  
新年にあたり、加藤久雄長野市長、北村正博長野商工会議所会頭、そして市川浩一郎NUPRI理事長による鼎談を企画いたしました。行政、商工会議所、企業会員によるNPO団体が、異なるスタンスや発想を生かしながら、互いに協調し合って地域の活性化を進めていく契機として、率直な意見交換が行われました。

▼出席者  
加藤 久雄 長野市長  
北村 正博 長野商工会議所会頭  
株式会社システックス 代表取締役社長  
市川浩一郎 NUPRI理事長  
岩野 彰 事務局長(司会)  
平成26年新春 長野市庁舎で開催(文中敬称略)

### 2014年は来年に向けた 「仕込み」の重要年

岩野事務局長(以下司会) 新年明けましておめでとうございます。本日はお忙しい中ご参集を賜り、ありがとうございます。加藤市長、北村会頭とも就任されたばかりということで、熱い抱負を抱いて新年をお迎えになったことと存じます。まずはそのあたりからお聞かせください。

加藤長野市長(以下加藤) 昨秋は皆さんのおかげで市長就任を果たすことができました。改めてご支援に感謝します。

昨年11月の就任時に、私は「市民の幸せのお手伝いをする」長野市役所となることを宣言しました。そのために、「市民はお客様」という意識を市役所の職員全員が持つて業務にあたらう、「元気を市役所から発信しよう」、「前例踏襲から一歩抜け出そう」という3項目を掲げ、実践を始めています。

その取り組みの第一として行ったのが「あいさつ」の実践です。職員同士はもちろん来庁された方々へのあいさつを、市役所にいる我々が率先して行うことを重視したのです。あわせて、今まで首からぶら下げていた職員の名札を胸に掲示するように変更しました。自分の名前を自信を持って発信し、元気に声を出してあいさつすることで、市民の皆さんが安心感を持ち、信頼を寄せてくださるようになっていくはずですよ。





ひいては、私の公約の一つである「市政の風通しをよくする」ことの実現にもつながっていくでしょう。

あいさつなんて、ごく当たり前のことなのですが、今まで長野市役所の中では何十年にもわたる課題だったようです。それというのも、やると決めたら、まずプロジェクトチームをつくり、段階的な計画を立てて進めていくという前例に従っていたからなんです。良き前例は踏襲すべきでしょうが、やろうと決めてもできない前例なら、そこから抜け出さなくては前に進まないのです。

私はこれを12月2日からスタートすることに決め、トップダウンで実行に移しました。今まで行われていなかった朝礼も、日々のけじめとして行うこととしました。これを多くのマスコミが紹介してくれたことで、市民への約束となりました。その結果、今まで何

**北村会頭（以下北村）**

十年も「できなかったこと」が、わずか1か月で、毎日の行動として「やって当たり前」のこととなったわけです。

と、積極果敢な行動力には脱帽します。私は、加藤前商工会議所会頭が長野市長となったのに伴って会頭職を引き継ぐこととなったわけですが、前会頭の積極さと迅速な行動力に、あらためて驚き、戸惑いさえ感じる昨今ですよ。

来々2015年は新幹線の北陸延伸、善光寺御開帳、新市庁舎の竣工、長野南運動公園の新スタジアム完成など、さまざまなイベントが控えているわけですが、それに対するアクションも加藤会頭時代に既に起こしていただいておりますので、それらをしっかり形にしていかなければと、気を引き締めて迎えた新年です。

まずはこの2月に第1回の「NAGANO検定」がありますので、多くの皆



さんに受検・合格していただき、長野市のエキスポパートになっていただきたいと考えています。

この検定は、新幹線延伸をにらみ、「おもてなしの長野」を醸成して北陸・関西の方々にお越しいただける地域にしていきたいとの意図を持っています。新幹線延伸に関しては、通過地点になってしまふのではという危機感からさまざまな施策が検討されていますが、この検定は、地域の人が地域を深く理解すること、おもてなしの心を地域に根付かせ、輝き続ける長野としたいという発想がいいですね。たくさんの方のご協力、中身の濃いガイドブックもできました。まちづくりに寄与する活動のひとつとして、定着をめざします。

いずれにしても今年は2015年を目前に控えた大切な「仕込みの年」。前会頭に負けない行動力で働きたいと思っています。

**市川理事長（以下市川）**

地域の活性化に寄与するNUPRIとしても、今年も腹をくくった取り組みをしなければいけないと考えています。

地域の宝を知るとい意味では、「ここ掘れ！調査隊」や「門前まち花遊歩」などを継続していくこと、また、スポーツによる地域振興をさらに支援していくことなどを核として、NUPRIの存在感をよりアピールしながら活動を進めていきたい考えです。市長も会頭もNUPRIの会員出身でいらつしやるし、それぞれの目線やスタンスの違



いをお互いに理解できる関係なので、その違いを生かしながら、かつ協調し合っで、よりよい地域づくりができそうです。そんな明るい予感を抱きつつ、この新年を迎えました。今年もぜひよろしくお願いたします。

**善光寺御開帳を  
市民みんなの大イベントに**

司会 新幹線が延伸する2015年をどう迎えるかは、行政、地域商工業、数々

の企業のいずれにとっても一大テーマだと思えます。この年に、善光寺御開帳など大きなイベントが重なるのは、非常にいいことですね。

**北村** 600数十万人の人が長野を訪れるのですから、活性化、経済効果、人的交流など、さまざまな効果が見込めます。しかし実のところ、善光寺の御開帳であつて、広く長野市民にとっての御開帳というところまで意識が定着していないのが現状ではないでしょうか。

私自身、企業の一経営者として見ていたときは、御開帳が行われることは知っていても、具体的な行事の意味や内容への関心が薄かったし、期間中、善光寺周辺だけがにぎわっているという印象でした。今、商工会議所という立場から御開帳を見ますと、地域の活性化につながる施策、広域エリアまで含んだ地域全域ににぎわいをもたらす施策を検討する余地が非常に大きいと実感しています。

たとえば松代から善光寺への回向柱の奉納にしても、ただ行列するのでは移動で終わりになってしまいます。要所でイベントを設け、音や視覚的な効果で、にぎわいを創出する取り組みができるのではないのでしょうか。

**市川** 奉納途上の回向柱に触れたいという希望も意外に多いのです。が、公道を曳くので、交通規制や、行列そのものの運行規制をしっかり設けなくては、安全が確保されないという心配もありますね。前は綱の曳き手を公募し、参加者に前の御開帳の回向柱を削った木札をお渡しするという方法で、イベントの周知・拡大を図りました。

**加藤** それで前回は1,000人が集まった

のでしたね。今回はそろいのハッピをまとうなど、行列を美しく目立たせる取り組みをして、もっともっと注目されるイベントにしたなら、要所要所のイベントもさらに盛り上がるのではないかな。それと、やはり市民みんなが「今は御開帳の期間だ」という認識を持ち、何らかの関わりを持ちたくなるような取り組みが大事でしょう。今年は、そういう方向性を固めるためにも大切な年だと思えますね。

**市川** 確かに、まず市民が盛り上がるのが大事ですね。前は、回向柱の行列をNHKのドキュメンタリーに組んでもらうプロジェクトにNUPRIも参画させてもらい、地域の施策にいい形で関わる事ができました。会員各位の御開帳への関心を高める結果にもなったと感じます。冬季オリンピックの時も、人がやることにはあまり関心を持たないが、実際に知ったり関わっ



たりすることによって盛り上がり相乗的に高まっていきました。今年はそういうきっかけづくりの年にしたいですね。

**加藤** 長野市としては、御開帳への取り組みも市長直轄のプロジェクトと位置づけ、期間中、中山間地まで含めた長野市全域が「毎日お祭り」という空気をつくっていかうと目論んでいます。皆さんもぜひご協力ください。

## 周辺部ならびに中山間地の活性化に向けて

**司会** 中山間地の活性化は鷲澤市長時代からの大きな課題であり、NUPRIの活動の一つでもありますね。

**加藤** これも市長直轄プロジェクトの一つとして力を入れていく所存です。御開帳期間は、急増する滞在客が市街地周辺まで周遊し、長野の魅力に触れていただくいい機会です。そのため取り組みも必要です。

**市川** 「りんごオーナー制度」、「採れたて野菜市」、「中山間地の新産業活性」といったNUPRIで実績を積んできた活動も、生かしていけるように思います。

**北村** 駐車場の料金に善光寺からの距離に応じた価格差を設け、表参道をはじめとする中心市街地はできるだけ歩いてもらう、周辺はドライブで楽しんでもらうといった取り組みもありだと思えますよ。現在、それを反映させた周遊マップの制作を検討しています。

**市川** それにつけても、長野には訪問者にとって魅力的なお土産が少ないとか、見つけづらいとかいうか。各エリアの個性が息づく新しいお土産とか味を開発することも、地域の魅力を高め、元気にしていくためのひとつの起爆剤にならないでしょうか。

**北村** そうですね。確かに海外の方々へのお土産や、気の利いた贈答品を探すのは苦労します。しかし、注意深く探してみると、カラマツ集成材を加工したクラフト時計とか、松代焼とか、埋もれているいいものもあるんです。そ



れらに光を当てるといふ方向性もありでしょうね。また、農業を軸として地域の活性化につながるような起業を検討していくことも、可能性に満ちた施策ではないかと思えます。

**市川** 御開帳同様こうした取り組みも、地域の人々がその気になったり、関わったりすることで、継続し拡大していくものだと思います。そうできるものにしていくことが重要でしょうね。その一つとして消えつつある旧町名の復活も、意味のあることになってくると思えますよ。私の地元である松代では、訴え続けてきた結果、ようやく緒に就いた感がありますが、各地でどんどん消えつつあるのではないですか。

**加藤** 消してはいけないと思いますね。歴史が抹殺されていくようなものですからね。実は市街地より周辺部のほうで、消えゆく傾向が強いですね。これはさっそく考えないと。

## スポーツ・文化振興の ブレ年としても重要な年

**司会** まさに文殊の知恵のごとく発想が出てきますね。さて、スポーツによる地域振興にも目を転じてみましょうか。

**市川** サッカーA.C長野パルセイロがJ3入りを果たし、今年はますます活躍が



期待できそうです。

**北村** 昨年の優勝パレードには、予想以上に人が集まりましたね。篠ノ井や松代でも大いに盛り上がり、市民の潜在的な可能性を実感しましたよ。

実は、企画から実行まで、わずか1週間という強攻策で進めたイベントでしたが、市民の反応が思いのほかの手応えで、今年への期待につながりました。

**加藤** さらに上位へ進めるための課題の一つであるスタジアムは2015年に完成します。もう一つの「1試合3,000名以上の観客動員」というハードルが高いのですが、あの盛り上がり可能性を見た思いですね。豊野、大岡、信州新町といった合併エリアも一つの潜在力と見て、エリアごとにファンクラブをつくるなどの取り組みも必要でしょう。

**市川** スポーツでまちづくりを考えていくには、施設の充実などが不可欠なので、最初は多少、強制力を持って進めていくことが求められるでしょう。

**市川** ユースオリンピックやラグビーのワールドカップなどの誘致にも、行政のリーダーシップが不可欠となります。

**加藤** 誘致には慎重に向き合っていきたいと思っています。いざ開催となると巨額の予算を投じる施策が必要になるだけに、先に施設ありきではダメなんです。地域の皆さんのムードが十分に高まっていなければ、反発も大きくなります。その点、よく言われることですが、松本山雅を支えるサポーターの盛り上がり、市民の熱狂ぶりは生半可ではありません。単にチームを応援する、強くなるのを喜ぶだけではないんですね。応援にスタジアムに足を運ぶと、地域のいろいろな人に会える、フランクな

コミュニケーションができるということに、企業人たちが魅力を感じているんですよ。それで、支援層の厚みが増しますます盛り上がるわけです。長野でもそういう意義というか

方向性を育んでいくことを、ぜひ考えていきたいですね。

**北村** NUPRIには、その点を大いに期待したいところです。企業トップによるNPOだからこそできるNUPRIらしい活動で、ぜひ市民の注目を集めてほしいと思います。

**市川** その意味でも2014年は重要な年になるといえそうです。

**加藤** プレといえば、2015年には新市民会館の竣工が待っています。音楽・文化の面でも事前の取り組みを進めていかなくては。皆さんの発想と知恵と行動力に大いに期待しています。

**市川** 繰り返しですが、市長も会頭もNUPRI出身だから甘えるわけではありませんが、地域活性化を願い、同じ意識を持つ同志として、手を携えていきたいものですね。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

**司会** 本年を、長野の将来を現実的に見つめ、明るく迎えるための準備年として、実りある年にしてい

く覚悟が湧いてまいりました。本日は有意義な鼎談をどうもありがとうございました。

